

取扱説明書

シリアル伝送タイプ

T6C0, T6C1

- 製品をお使いになる前に、この取扱説明書を必ずお読みください。
- 特に安全に関する記述は、注意深くお読みください。
- この取扱説明書は必要な時にすぐ取り出して読めるように大切に保管しておいてください。

本製品を安全にご使用いただくために

本製品を安全にご使用いただくためには材料、配管、電気、機構などを含めた空気圧機器に関する基礎的な知識(日本工業規格 JIS B 8370 空気圧システム通則に準じたレベル)を必要とします。

知識を持たない人や誤った取扱いが原因で引き起こされた事故に関して、当社は責任を負いかねます。

お客様によって使用される用途は多岐にわたるため、当社ではそれらを把握することができません。ご使用条件によっては、性能が発揮できない場合や事故につながる場合がありますので、お客様が用途、用法に合わせて製品の仕様の確認および使用法をよく理解してから決定してください。

本製品には、さまざまな安全策を実施していますが、お客様の誤った取扱いによって、事故につながる場合があります。そのようなことがないためにも、**必ず取扱説明書を熟読し内容を十分にご理解いただいたうえでご使用ください。**

本文中に記載してある取り扱い注意事項とあわせて下記項目についてもご注意ください。

注意：

- シリアル伝送子局のアドレス設定値を不適切な値に設定された場合電磁弁及びシリンダ等の誤動作につながる場合がありますのでアドレス設定値をよく確認してからご使用ください。
- 電気配線接続部（裸充電部）に触れると感電する恐れがあります。配線時には必ず電源を切ってから作業をしてください。また、濡れた手で充電部を触らないでください。
- シリアル伝送子局の使用にあたっては必ず使用する通信システムの取扱説明書を熟読し、内容を十分に理解したうえでご使用ください。

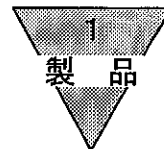
目 次

T6C0, T6C1

シリアル伝送タイプ

取扱説明書 No. SM-301315

1. 製品に関する事項	
1.1 システムの概要	3
1.2 システムの構成	5
1.3 仕様	6
1.4 製品各部の名称とはたらき	8
1.5 バルブ用子局	9
1.6 バルブ用子局取り付け	11
2. 注意事項	14
3. 操作に関する事項	
3.1 スイッチ設定	14
3.2 子局出力とコネクタの対応	16
3.3 子局出力とバルブソレノイドとの対応	16
3.4 プログラム方法	17
4. 据付けに関する事項	
4.1 配線方法	18
5. 保守に関する事項	
5.1 トラブルシューティング	20



1. 製品に関する事項

1.1 システムの概要

1) T6C1・T6C0電磁弁は

オムロン(株)プログラマブルコントローラ (PLC) 200HX/HG/HE (以下、SYSMAC α という)、C200HSおよびCQM1シリーズのCompoBus/Sに接続できる子局 (OPP3-1C・0C) を搭載したマニホールド電磁弁です。

- (1) PLCとマニホールド電磁弁がケーブル1本で接続できるため、配線工数の低減が図れます。
- (2) 1台のマスタユニットに最大16台の子局付マニホールド電磁弁が接続でき、16点または8点単位の分散制御が可能になります。(最大幹線長100m)
- (3) ユニット電源・バルブ電源が分離でき、それぞれにモニタLEDがつきます。バルブ電源のみをOFFすることで、通信テストを行えます。
- (4) 出力モード設定スイッチにより、通信異常時の出力信号の保持・クリアを選択できます。

2) CompoBus/Sとは

オムロン(株)製プログラマブルコントローラ、SYSMAC α 、C200HS、CQM1シリーズのリモートI/Oシステムの一つで、次のような特長を持ちます。

(1) ケーブル1本で省配線化

ケーブル1本で、マスタ (親局) とスレーブ (子局)、スレーブとスレーブ間を接続できます。さらに4線の専用フラットケーブルを使用すると、スレーブの通信用の電源もケーブルから供給でき、フロア配線を大幅に減らすことができます。また、幹線からの支線の分岐も、専用のコネクタにより簡単にできます。

(2) 0.5msの高速通信サイクルタイムを実現

最大16台のスレーブ、128点の入出力を0.5msの高速な通信サイクルで結びます。
タイムクリティカルなFA現場でも、十分期待に応えます。

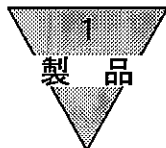
(3) T分岐方式、マルチドロップ方式で自由に構成

配線には、T分岐方式とマルチドロップ方式を自由に組み合わせることができます。

これにより、フロア構成に合わせた自由度の高いシステムを構築できます。また、ケーブルにもVCTFケーブルと専用フラットケーブル使用時には、T分岐コネクタをワンタッチで装着できます。

(4) 幹線長最大100m

高速通信を実現しながら、幹線長も100mまで延ばせます。より広いエリアの入出力装置を高速にI/O処理できます。



(5) 簡単な立ち上げ

ケーブルを配線し、簡単な設定をするだけで、CompoBus/Sを立ち上げることができます。従来のリモートI/Oシステムとの置き換えも簡単です。

LEDによる異常スレーブ番号表示

異常が発生したスレーブのスレーブ番号（ノードアドレス）がマスタの4連LEDに表示されるので、異常発生箇所の特정이容易です。C200HX/HG/HE、C200HS用のマスタユニット使用時は、内部補助リレーにも異常の詳細が反映されます。

(6) 豊富なスレーブ

I/Oターミナルやセンサターミナルなど、豊富な入出力装置がスレーブ（子局）として用意されています。BIT（ビットチェーン）親局を、CompoBus/Sのスレーブとすることもでき、用途に合わせて、システムを自由に構築できます。

注）必ずオムロン(株)製ユーザーズマニュアルをお読みください。

本資料ではおもにT6C1・T6C0および子局OPP3-1C・0Cについて説明しております。

オムロン(株)プログラマブルコントローラSYSMAC α 、C200HS、CQM1シリーズおよびCompoBus/Sについては、各ユーザーズマニュアルをお読みください。

本マニホールド電磁弁についても、必ず本資料と上記マニュアルをどちらともお読みいただき、機能、性能を十分理解のうえ正しくご使用くださるようお願い致します。

CompoBus/Sについてのお問い合わせは、下記におたずねください。

オムロン株式会社

ホームページアドレス <http://www.omron.co.jp/>

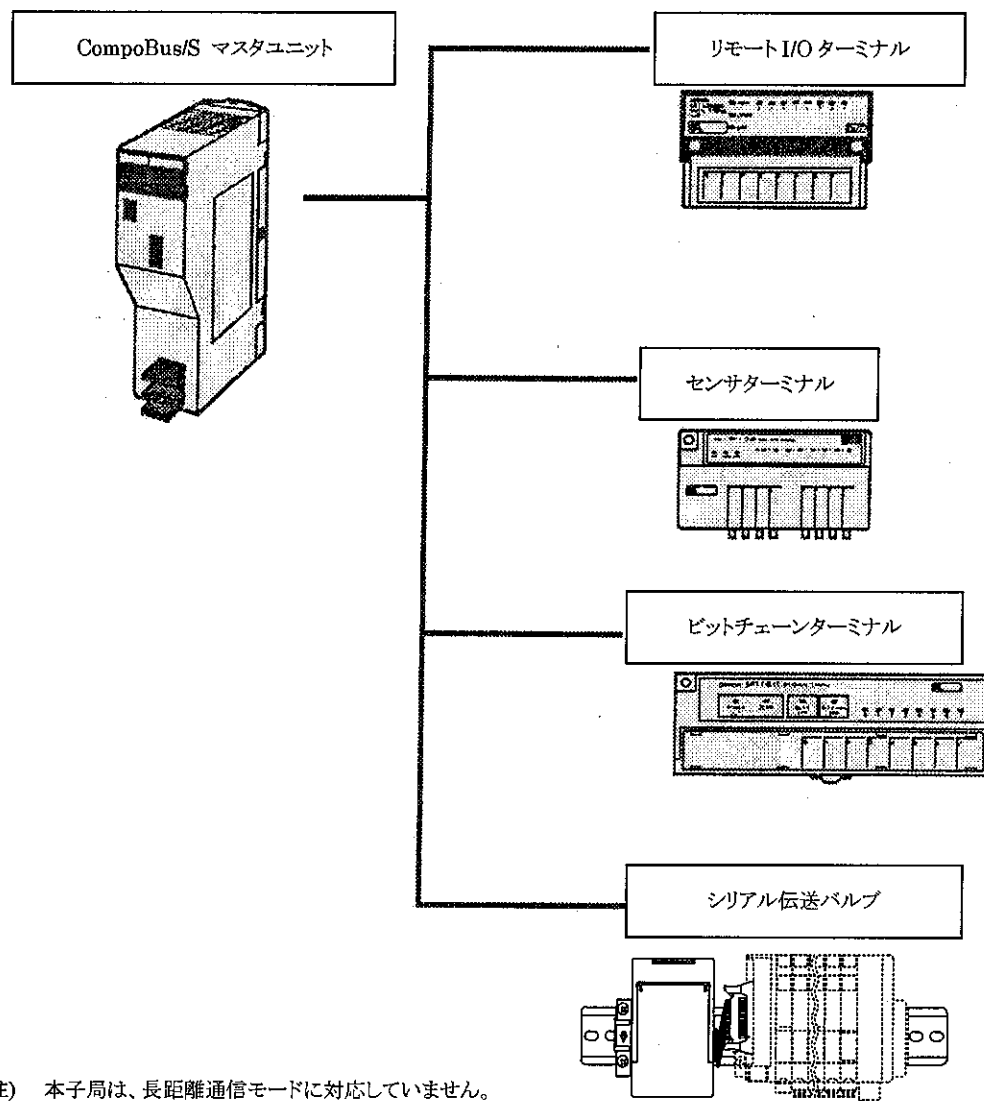
1.2 システムの構成

本システムは、おもにプログラマブルコントローラ本体、マスタユニット、T6C1・T6C0電磁弁及び周辺機器より構成されます。

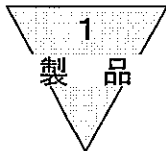
● PLC とマスタユニットの組み合わせ

PLC 形式	親局ユニット形式
C200HX/HG/HE C200HS, CS1	形 C200HW-SRM21-V1
CQM1H	形 CQM1-SRM21-V1
—	形 SRM1-C01/02-V2

● システム構成



注) 本子局は、長距離通信モードに対応していません。
高速通信モードでご使用ください。



1. 3 仕様

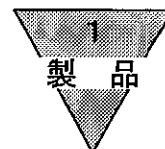
1) 電気仕様

項 目	仕 様
定格電圧 (V)	DC24
定格電流 (A)	0.025
消費電力 (ランプ付) (W)	0.6
電圧変動範囲	+10%
耐熱クラス	B
サージ保護回路	ツェナーダイオード内蔵
インジケータ	LED

2) 通信仕様

項 目	仕 様						
通信方式	CompoBus/S 専用プロトコル						
通信速度	750Kbit/s						
変調方式	ベースバンド方式						
符号方式	マンチェスタ符号方式						
誤り制御方式	マンチェスタ符号チェック、フレーム長チェック、パリティチェック						
使用ケーブル	ビニールコード VCTF JIS C 3306 : 2 芯公称断面積 0.75mm ² (信号線×2) (VCTF ケーブル) 専用フラットケーブル : 0.75mm ² ×4 (信号線×2、電源線×2)						
距離	VCTF ケーブル使用時						
	<table><tr><td>幹線長</td><td>支線長</td><td>総支線長</td></tr><tr><td>100m 以下</td><td>3m 以下</td><td>50m 以下</td></tr></table>	幹線長	支線長	総支線長	100m 以下	3m 以下	50m 以下
	幹線長	支線長	総支線長				
	100m 以下	3m 以下	50m 以下				
専用フラットケーブル使用時							
<table><tr><td>幹線長</td><td>支線長</td><td>総支線長</td></tr><tr><td>30m 以下</td><td>3m 以下</td><td>30m 以下</td></tr></table>	幹線長	支線長	総支線長	30m 以下	3m 以下	30m 以下	
幹線長	支線長	総支線長					
30m 以下	3m 以下	30m 以下					
ただし、専用フラットケーブル使用時でも、スレーブ接続台数が16台以下の場合には、 幹線長を 100m 以下に、総支線長を 50m 以下にすることができます。							

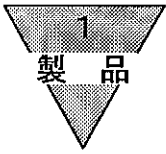
注) 本子局は、長距離通信モードに対応していません。



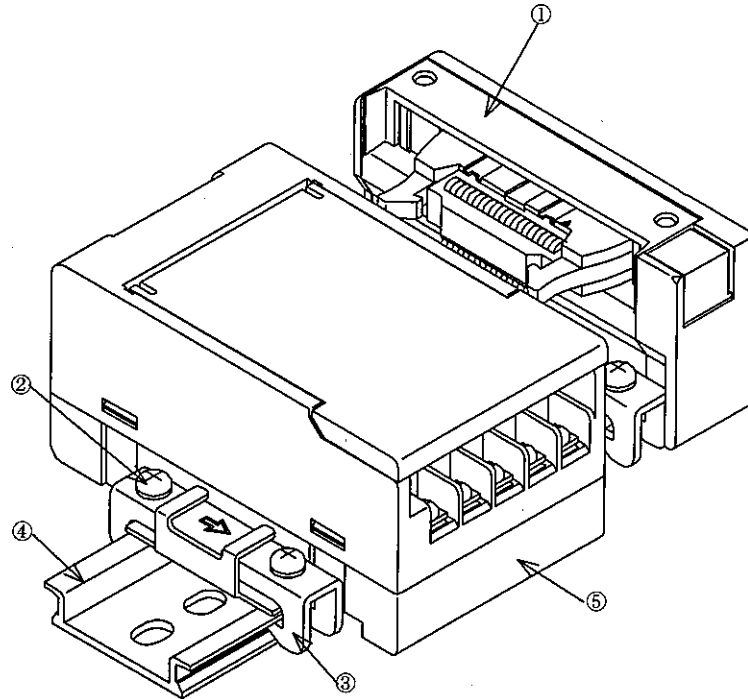
3) 子局仕様

項 目		仕 様
電源電圧 (ユニット側)		DC21.6V~26.4V (DC24V $\pm 10\%$)
消費電流 (ユニット側)		OPP3-0C: 40mA 以下, OPP3-1C: 60mA 以下 (出力全点 ON 時)
電源電圧 (バルブ側)		DC22.8V~26.4V (DC24V $\pm 10\%$, -5%)
消費電流 (バルブ側)		15mA 以下 (全点 OFF 時)
絶縁抵抗		外部端子一括とケース間 20M Ω 以上 DC500V メガ
耐電圧		外部端子一括とケース間 AC500V 1 分間
耐ノイズ性		600Vp-p パルス幅 100nsce, 1 μ sec
耐振動性	耐久	10Hz~150Hz~10Hz 1 オクターブ/分 片振幅 0.75mm または 10G の小さい方にて X, Y, Z の 3 軸方向 各 15 掃引
	誤動作	10Hz~150Hz~10Hz 1 オクターブ/分 片振幅 0.75mm または 10G の小さい方にて X, Y, Z の 3 軸方向 各 4 掃引
耐衝撃性		30G 3 方向 3 回
周囲温度		0~50℃
周囲湿度		30~85%RH (結露なきこと)
使用雰囲気		腐食性ガスなきこと
通信対象		CompoBus/S (高速通信モードのみ)
出力点数		OPP3-0C: 8 点, OPP3-1C: 16 点
出力絶縁方式		フォトカプラ絶縁
最大負荷電流		100mA/1 点
漏れ電流		0.1mA 以下
残留電圧		0.5V 以下
出力形式		NPN トランジスタ オープンコレクタ出力
動作表示		LED (電源及び通信状態のみ)
占有局数		OPP3-0C: 8 点, OPP3-1C: 16 点

注) 本子局は、長距離通信モードに対応していません。



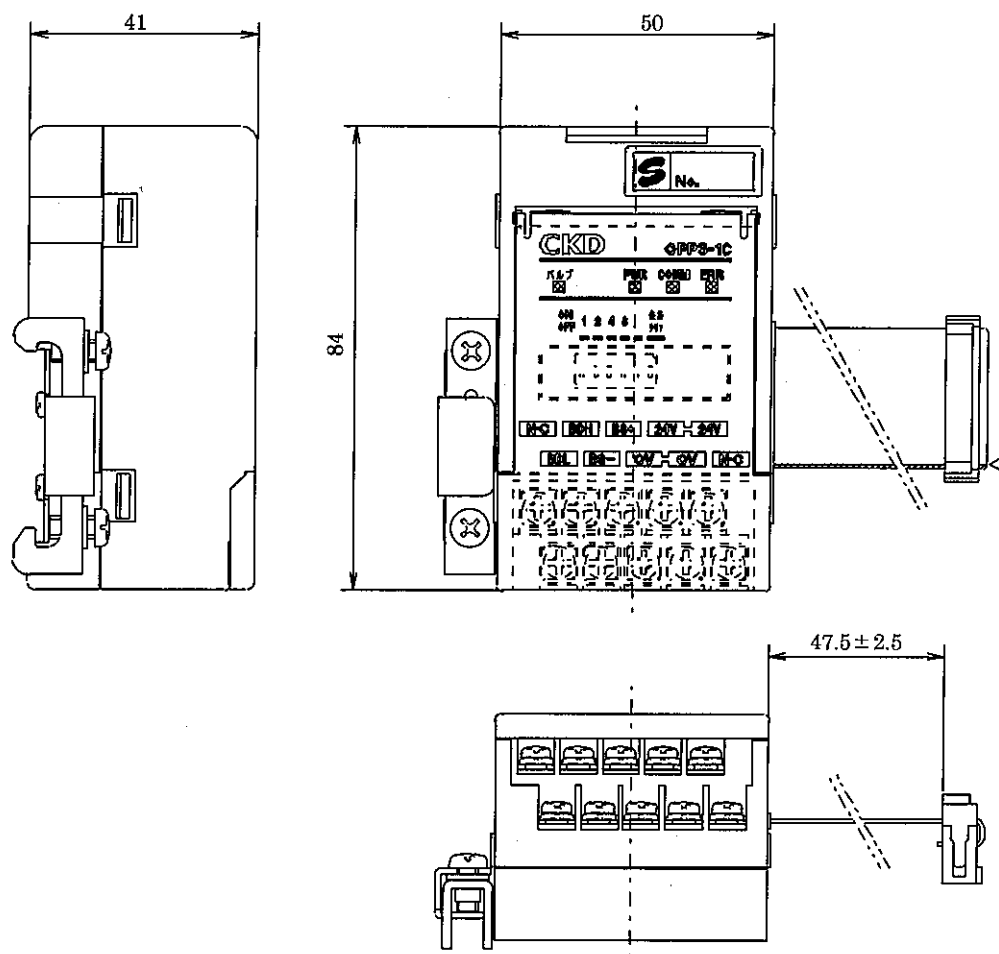
1. 4 製品各部の名称とはたらき

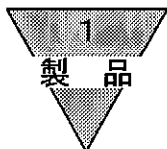


No.	名 称	説 明
①	電装ブロック	中継コネクタ付プリント基板が内蔵、固定されています。
②	子局固定ねじ	子局を DIN レールに固定します。
③	エンドリティナ	
④	DIN レール	
⑤	子局	通信システムに接続できるリモート I/O 局です。

1.5 バルブ用子局

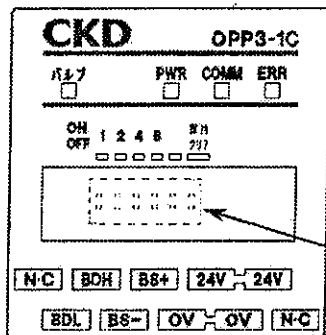
1) バルブ用子局外形



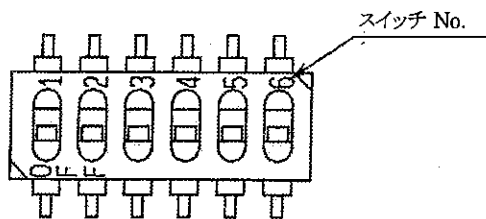


2) 表示と設定スイッチ

- (1) バルブ用子局には、運転状態を外部から確認できるよう、種々のLEDランプがついています。上部のシートにランプの機能表示が印刷されています。つぎのような運転状態を表示します。動作確認あるいは、メンテナンスの際参考になしてください。



表示シート



設定用DIPスイッチ

LED表示

LED 名	表示内容
バルブ (緑色)	バルブ電源 ON 時に点灯
PWR (緑色)	ユニット電源 ON 時に点灯
COMM (橙色)	正常通信中に点灯、通信異常時または待機中に消灯
ERR (赤色)	通信異常発生時に点灯、正常通信中または待機中に消灯

設定内容

スイッチ名	設定内容
ノードアドレス設定スイッチ (スイッチ No.1~4)	PLC のチャンネルに子局の出力接点を割り付けます。
出力モード設定スイッチ (スイッチ No.6)	通信異常が発生した時に、出力データの状態を保持するかクリアするのを選択します。

※ スイッチ No.5は使用しません。

- (2) 設定スイッチで、そのバルブ用子局のノードアドレス・伝送異常時の出力モードの設定を行います。

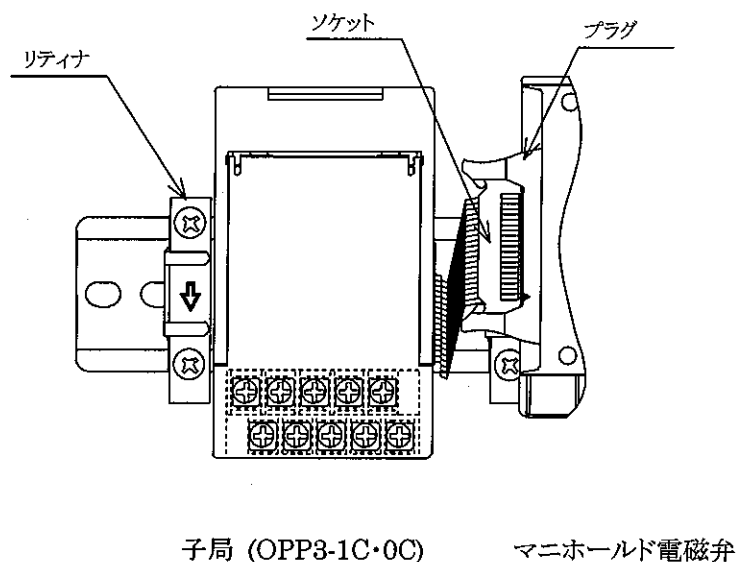
(3. 操作方法 でご確認ください。)

バルブ用子局へ、通電する前に必ず設定してください。

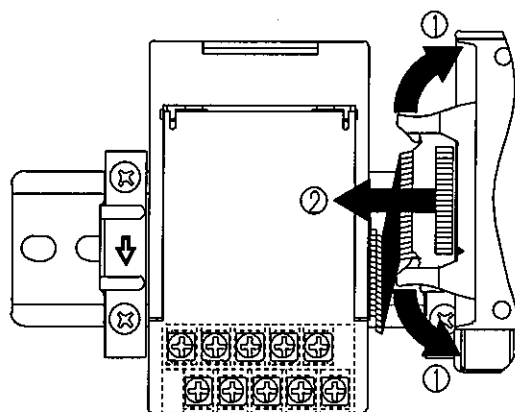
- バルブ用子局の全面を覆っているカバーは、ワンタッチで開閉ができます。スイッチの設定及び配線の時以外は、必ず閉じておいてください。スイッチ部より異物が内部回路部分に入り思わぬ故障の原因となったり、カバーの破損の原因となります。また、設定及び配線時にも内部へ、異物が入らないよう十分注意してください。
- 設定スイッチは、非常に精密にできており、乱暴な取り扱いをしますと、破損する場合があります。また、設定時に内部回路基板には、絶対に触れないようにしてください。

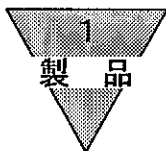
1. 6 バルブ用子局取り付け

バルブ用子局OPP3-1C・0Cは、通常リティナによりDINレールに固定（マニホールド電磁弁の横に設置）され、マニホールド電磁弁とは、コネクタ（プラグとソケット）によって接続されています。信号及び電源線等の配線により子局をDINレールから取り外す場合、下記の順に従ってください。



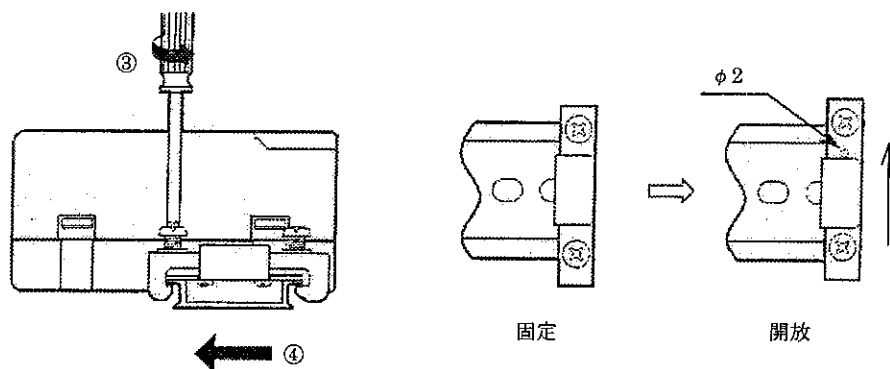
- 1) プラグを両側に広げ、ソケットを外してください。
- ※ この時、プラグの両側を均等に広げていってください。





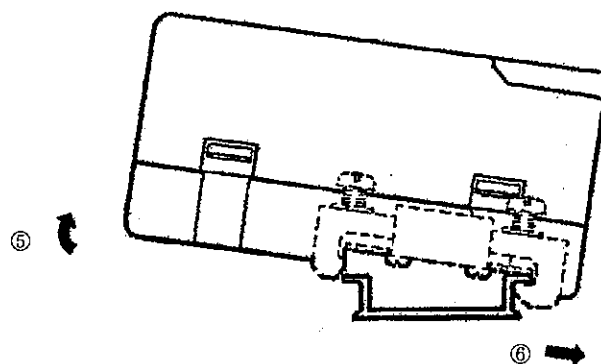
- 2) 固定用のねじ (2ヶ所) を緩め、リティナに設けられた $\phi 2$ の穴が完全に現れるまでリティナをずらしてください。

※ リティナは $\phi 2$ の穴が見える時開放状態、見えない時固定状態となっています。



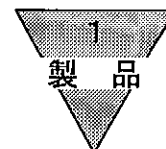
- 3) 子局の後方を持ち上げ端子台に引くことによりDINレールから外れます。

※ この時、リティナの手前の指で押さえ、開放状態を維持しておいてください。



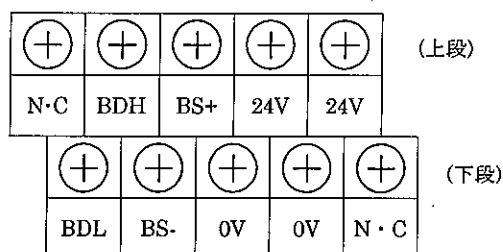
- 4) 子局を取り付ける際には、⑥ → ⑤ → ④ → ③ → ② → ①といった具合に以上の動作の逆の手順、又、逆の方向で行ってください。

※ 但し、子局とマニホールド電磁弁の間隔は、コネクタを横向きにするか、縦向きにするかによって異なりますので、取り付けの際は十分注意してください。



子局には、端子台が設置されています。子局への直接配線はこの端子台へ行います。各端子の機能は、子局上部のシートに印刷されています。

- 6.6mm幅以下のM3用圧着端子を使用し締付けトルク0.3～0.5N・mで固定して下さい。



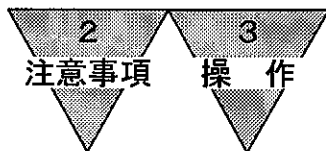
端子台

記号	機能	主な接続対象
BD H BD L	通信用端子	親局または、その他のスレーブユニットの通信用端子の BD H, BD L にそれぞれ接続します。
BS + BS - ※2	ユニット電源	DC24V±10%のノイズの少ない電源を使用してください。
24V ※1 0V ※2	パルプ電源	DC24V±10%, -5%のノイズの少ない電源を使用してください。
N・C	使用しません	何も接続しないでください。

※1 上段の24V (2ヶ所) は内部で短絡されています。また、下段の0V (2ヶ所) も内部で短絡されています。

他のI/O機器に電源を供給する際にご利用ください。但し、本子局を通過できる電流は7A以下です。

※2 電源の極性には、十分注意して配線してください。



2. 注意事項

1) 出力伝送遅れ時間

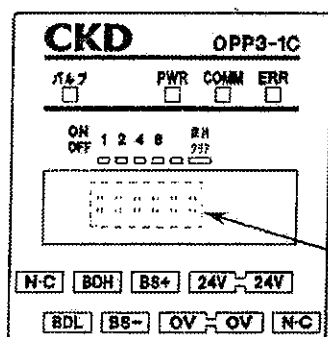
システムとしての伝送時間の遅れは、PC本体のスキャンタイム、マスタユニットへ接続される他の機器により、異なります。PC本体ならびにマスタユニットのマニュアルを参照してください。

なお、電磁弁の応答時間は機種により異なるため電磁弁仕様にてご確認ください。また、OFF時間はバルブ用子局にサージ吸収回路としてフライホールダイオードを用いているため、さらに20msほどおくれます。

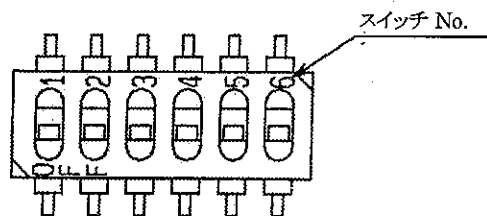
3. 操作に関する事項

3.1 スイッチ設定

スイッチでは、ノードアドレスと通信異常時の出力モードの2つの機能設定を行います。スイッチの位置により機能が異なっていますので必ず位置を確認の上、設定作業を行って下さい。スイッチの設定は必ず電源をOFFにして行ってください。



表示シート



設定用DIPスイッチ

1) ノードアドレスの設定 (スイッチNo.1～4)

本バルブ用子局及び同じ信号線に接続されるリモートI/Oターミナルのノードアドレスは、#0～#15の範囲内で設定できますが、使用するPC本体の種類やマスタユニットの設定値によってスレーブユニットのI/O割り付けが異なります。(I/O割り付けに関する詳細については、オムロン株式会社製CompoBus/Sユーザーズマニュアルを参照してください。) ノードアドレスと本子局のスイッチとの対応は下表のようになっています。

※ ノードアドレスを設定するときは、他のスレーブのノードアドレスと重複しないように設定してください。重複すると、正常に通信が行われません。

また、CQM1用のマスタユニットで4点モードに設定した場合、OPP3-1C (16点占有) は使用できません。(OPP3-0C (8点占有) は使用できます。)

※ ノードアドレスはスイッチNo.1～4を下表のようにして設定します。

ノードアドレス	スイッチ No.			
	1(1)	2(2)	3(4)	4(8)
0	○	○	○	○
1	●	○	○	○
2	○	●	○	○
3	●	●	○	○
4	○	○	●	○
5	●	○	●	○
6	○	●	●	○
7	●	●	●	○

ノードアドレス	スイッチ No.			
	1(1)	2(2)	3(4)	4(8)
8	○	○	○	●
9	●	○	○	●
10	○	●	○	●
11	●	●	○	●
12	○	○	●	●
13	●	○	●	●
14	○	●	●	●
15	●	●	●	●

●：スイッチON ○：スイッチOFF

注) ()内の数字は各スイッチに対応した値 (ケース表示) である。

2) 出力モードの設定 (スイッチNo.6)

通信異常発生時における出力の状態を以下のように設定します。

スイッチ No.6	出力データの設定
ON	保持
OFF	クリア

※ 設定用DIPスイッチのスイッチNo.5は使用しません。

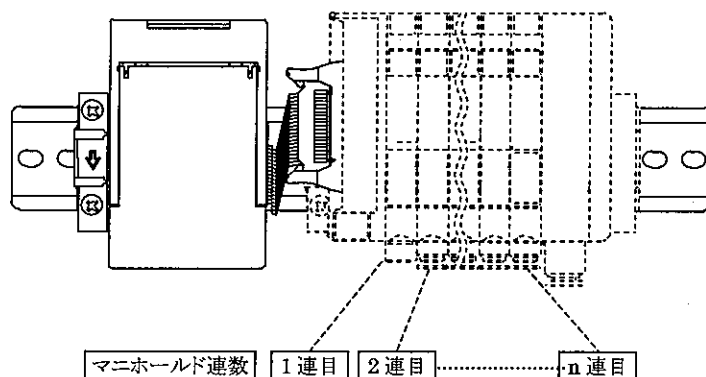
3.2 子局出力とコネクタの対応

子局出力番号とコネクタピンNo.とは次のように対応しています。

コネクタ 三角マーク ↑ コネクタピン NO.																			
子局出力番号	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15			
コネクタピン NO.	1	2	3	4	5	6	7	8	11	12	13	14	15	16	17	18			

3.3 子局出力とバルブソレノイドとの対応

- 1) コネクタピンNo.とマニホールドソレノイドとの対応は下表に示されます。但し、OPP3-0Cは8点出力であるため、子局出力番号0～7 (8点) が有効となります。
- 2) マニホールド連数は、配線ブロック側の位置にかかわらず配管ポートを手前にして左から順番に設定しています。



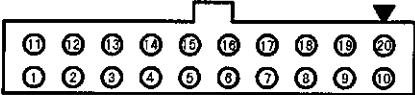
マニホールド連数 1 連目 2 連目 n 連目

(マニホールド連数最大 16 連まで対応)

配線方式T6※のコネクタピン配列 (例)

- ※ バルブNo.1a, 1b, 2a, 2b…の数字は1連目、2連目を表し、
アルファベットa, bはa側ソレノイド、b側ソレノイドを意味します。
マニホールド最大連数は機種により異なります。
機種別仕様を確認してください。

コネクタピン No.



● シングルソレノイドバルブのみの場合

<標準配線>

ピンNo.	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
バルブNo.	9a	10a	11a	12a	13a	14a	15a	16a	－電源	＋電源
ピンNo.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
バルブNo.	1a	2a	3a	4a	5a	6a	7a	8a	－電源	＋電源

<ダブル配線>

ピンNo.	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
バルブNo.	5a	(空)	6a	(空)	7a	(空)	8a	(空)	－電源	＋電源
ピンNo.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
バルブNo.	1a	(空)	2a	(空)	3a	(空)	4a	(空)	－電源	＋電源

● ダブルレノイドバルブのみの場合

ピンNo.	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
バルブNo.	5a	5b	6a	6b	7a	7b	8a	8b	－電源	＋電源
ピンNo.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
バルブNo.	1a	1b	2a	2b	3a	3b	4a	4b	－電源	＋電源

● ミックス (シングル・ダブル混載)

<標準配線>

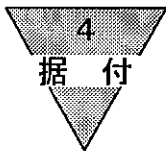
ピンNo.	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
バルブNo.	7a	7b	8a	9a	10a	10b	11a	11b	－電源	＋電源
ピンNo.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
バルブNo.	1a	2a	3a	3b	4a	4b	5a	6a	－電源	＋電源

<ダブル配線>

ピンNo.	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
バルブNo.	5a	(空)	6a	(空)	7a	7b	8a	(空)	－電源	＋電源
ピンNo.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
バルブNo.	1a	(空)	2a	(空)	3a	3b	4a	4b	－電源	＋電源

3. 4 プログラム方法

プログラム上、本バルブ用子局の扱いはオムロン株式会社製リモートターミナル (出力タイプ) と同じ扱いとなります。オムロン株式会社製ユーザーズマニュアルでご確認ください。



4. 据付けに関する事項

4.1 配線方法

T6C1・T6C0を機能させるには、通信線と電源線を接続する必要があります。これらの接続を誤りますと、ただ機能しないだけでなく、場合によっては、本製品ばかりか同時に使用される他の機器にまで重大な障害を引き起こす場合があります。ご使用まえに、本資料とオムロン株式会社製プログラマブルコントローラ SYSMAC α、C200HS、CQM1シリーズおよびCompoBus/S各ユーザーズマニュアルをどちらともお読みいただき、正しい接続でご使用くださるようお願い致します。

1) ケーブルの種類と距離

ケーブルの種類と仕様は次のようになっています。

種類	仕様
VCTF ケーブル (市販品)	ビニルコード VCTF JIS C 3306 2 芯公称断面積 0.75 mm ² (信号線×2) 導体抵抗 (20℃): 25.1Ω/km
専用フラットケーブル 形 SCA1-4F10 (長さ 100m)	公称断面積 0.75 mm ² ×4 (信号線×2、電源線×2) 使用周囲温度: 60℃以下

ケーブルの種類によって通信ケーブルの距離は次のようになります。

種類	幹線長	支線長	総支線長
VCTF ケーブル	100m 以下	3m 以下	50m 以下
専用フラットケーブル	30m 以下	3m 以下	30m 以下

※ スレーブ接続台数が 16 台以下の場合、専用フラットケーブルでも幹線長を 100m 以下、総支線長を 50m 以下で使用することができます。

注) 本子局は、長距離通信、モードに対応していません。

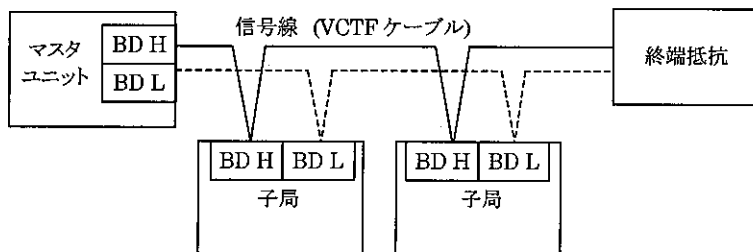
2) 本子局への接続

本子局に通信ケーブルを接続する場合は、BD H信号線をBD H端子に、BD L信号線をBD L端子に接続します。また、子局のユニット電源を供給する場合は、BS+線 (電源+側) と BS-線 (電源-側) も、それぞれBS+端子とBS-端子に接続します。

本子局への接続例を以下に示します。

● VCTFケーブル使用時

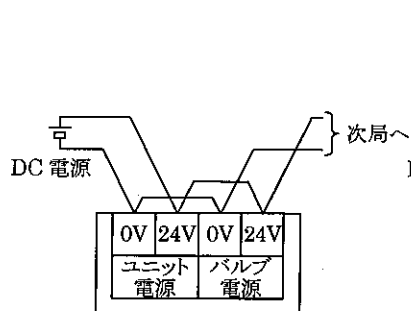
(a) 信号線の配線



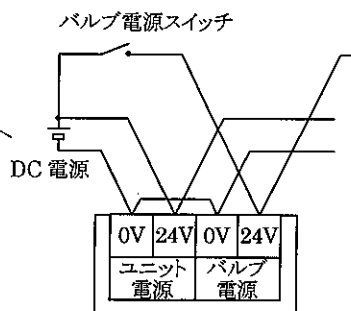
(b) 電源線の配線

電源線は、つぎのような配線方法を取ってください。

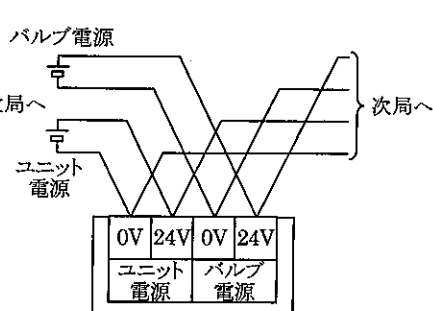
① ユニット電源とバルブ電源を共通する接続



② バルブ電源を ON・OFF する接続

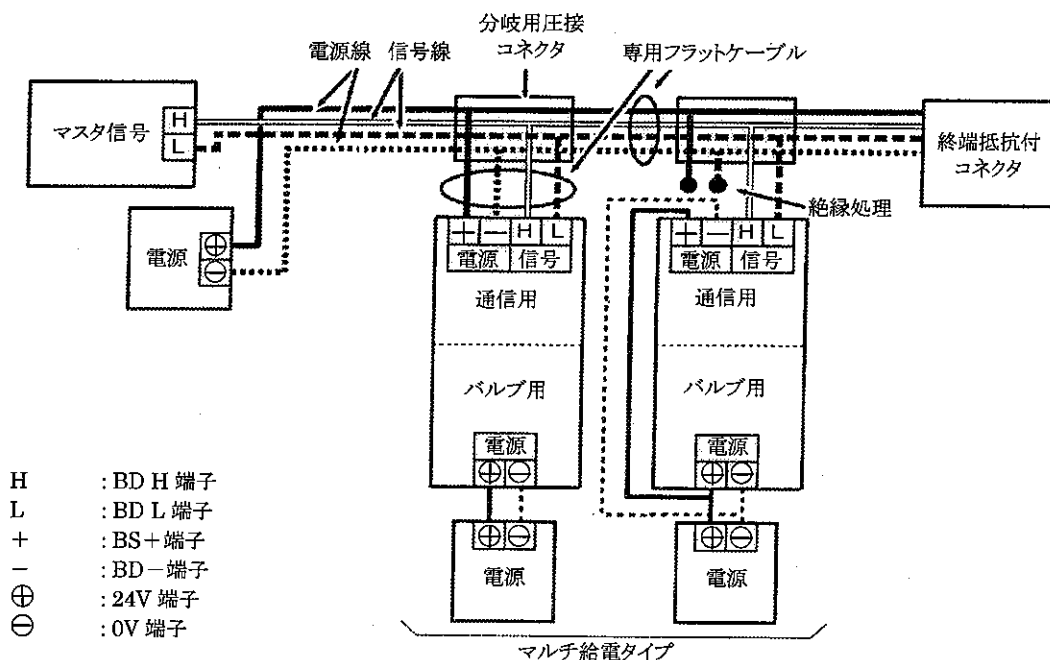


③ ユニット電源とバルブ電源を分離する接続



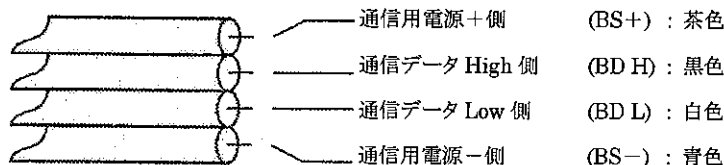
注) : 1つの電源から複数の子局・リモートI/Oへ電源供給をする場合、電線による電圧降下を考慮したケーブルの選定・配線をしてください。1系統の電源線による電圧降下が避けられないときには、電源線を複数系統にしたり、現場の機器近辺に別の電源を設置するなどの処置を取り、定格電圧範囲内の電圧を確保してください。

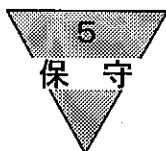
● 専用フラットケーブル使用時



※ 専用フラットケーブルでは、信号線は次のように決まっています。

このケーブルから電源を供給しない場合はBS+とBS-の電源線は絶縁処理をしてください。





5. 保守に関する事項

5.1 トラブルシューティング

本バルブ用子局のトラブルシューティングとしては、単体ではなく、システムとして行う必要があります。本バルブ用子局にはオムロン製リモートI/Oターミナルと同様のLED表示があり、この表示及びマスタユニットの表示をもとに異常内容を判断して処置することになります。その際には、オムロン(株)製CompoBus/Sユーザーズマニュアルの第4章「メンテナンス」を参照ください。なお、本バルブ用子局特有のLED表示として、バルブLEDがあります。このLEDだけが消灯している時は、バルブ電源への供給電圧及び接続をご確認ください。

LEDの意味

表示	名称	色	状態	意味
PWR (POWER OUT)	電源	緑		通信電源供給中
				通信電源未投入
COMM	通信	黄		正常通信中
				通信異常、または待機中
ERR (BUS/S ERR)	通信異常	赤		通信異常発生
				正常通信中、または待機中

: 点灯 : 消灯

異常と警報一覧

項目	LED 状態			異常の要因	処置
	PWR	COMM	ERR		
ユニット電源 OFF				ユニット電源が OFF となっている。	ユニット電源を ON にする。
エリア重複発生				マスタが CQM1 用で、1 ノードアドレス当たりの占有点数が 4 点モードに設定されている場合に、スレーブ (子局) 間でエリアが重複している。通信は停止する。	異常が発生している 8 点のスレーブ (子局) のエリアを調べ、他のスレーブ (子局) との重複をなくした後、マスタの PC 本体の電源を再投入する。
アドレスオーバ発生				マスタが CQM1 用で、PC 本体占有 CH 数が 2CH または 4CH の場合に、ノードアドレス 0~7 で許されないノードアドレスが設定されている。	マスタユニットの LED 表示を確認し、ノードアドレスを設定できる範囲内に直す。
ノードアドレス範囲外発生				マスタが CQM1 用の場合に、ノードアドレス 8~15 のノードアドレスが設定されている。	マスタユニットの LED 表示を確認し、ノードアドレスを設定できる範囲内に直す。
通信異常発生				通信中のスレーブ (子局) に通信異常が発生し、通信から離脱した。	マスタユニットの LED 表示を確認し、通信異常の原因を解除する。
マスタの電源 OFF			—	ユニット電源が OFF になっている。	マスタの電源を ON にする。

: 点灯 : 消灯 — : 不定

異常が発生しているスレーブ (子局) のノードアドレスがマスタのステータス情報 (C200HX / HG / HE, C200HS用マスタユニットのみ)、またはLED表示に表示されます。